



2024年1月30日(火)

研究インテグリティ研修会

研究インテグリティとは？

琉球大学 研究推進機構研究企画室 主幹URA

河合 孝尚



目的

- 近年、研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクへの懸念が顕在化してきており、**国際的に信頼性のある研究環境を構築**することが不可欠となっている。
- 研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対する研究インテグリティの確保が必要となり、**研究者及び研究機関等における研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の自律的な確保**に係る取組を推進することが求められている。

1つ目のポイント: 「研究インテグリティ」とは?

(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局作成資料「研究インテグリティの確保に係る対応方針」より)

- 研究インテグリティとは、研究の国際化やオープン化に伴う**新たなリスク**に対して新たに確保が求められる、研究の健全性・公正性を意味します。

↳ 説明不足

- この新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や、研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されています。
- こうした中、我が国として国際的に信頼性のある研究環境を構築することが、研究環境の基盤となる価値を守りつつ、必要な国際協力及び国際交流を進めていくために不可欠となっています。

~~Research Integrity = 研究公正~~

Research = 研究
Integrity = インテグリティ



インテグリティの和訳について

- インテグリティの原義は「**完全性**」であるだけに、多くの「**美德 (composite set of values)**」が詰まっている。
 - ⇒ 誠実、正直、言行一致、勇気、愛、リーダーシップ、チーム感、コミュニケーション、組織の一体性・・・等
- これを誠実とか公正などと無理に訳してしまうと、インテグリティの一部のみしか表現できていない。

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

理想の私



過程

現実の私



「どう頑張っても、どう努力しても完全無欠には絶対になり得ない『現実の私』から距離的に遠くにあって、その実現が完了し終わることは永遠にないであろう『理想の私』に向かって歩みを進めていきましょう」というのがインテグリティの基本的な考えであり、「人の手が届かないくらい遠くにあって、それくらい崇高の領域があることに気づいて、不完全の今の私は、その不完全な状態から理想的なその姿に**一歩ずつ近づいていく**」ことがインテグリティです。

※ 藤井他，“自律的思考を促すスポーツ・インテグリティ教育”，2021.

完全を目指す「過程」つまり「理想に向かって努力する姿勢」にこそインテグリティの本質がある！

インテグリティが欠けている具体例

組織	大学の方針の軽視・形骸化（面従腹背、本音と建前の乖離）
	ミスを見て見ぬふり・部下に注意しない
	公費を使った商品購入でポイントを貯める
	シュレッダー周りのゴミを拾わない
	職場のインフラの私的利用
お金	残業・定期券代の不正申告
	自分は経費を自由に使うが、部下の経費支出にダメ出しをする

誰も見ていないとき「正しいことをすべきか否か」と迷ったら、それはインテグリティ事例

個人の倫理・道徳を基準とし、内面から自発的・自律的にわき上がる規範

- ◆「お天道様は見ています」
- ◆「天知る地知る我知る子知る」
- ◆「天網恢恢疎にして漏らさず」 etc.

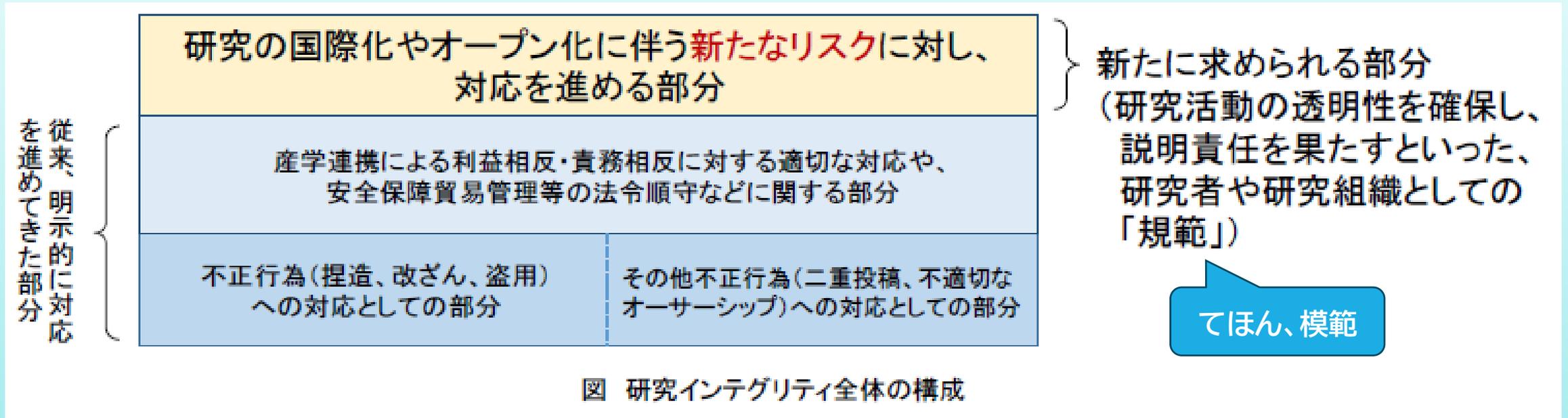
※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

2つ目のポイント: 「新たなリスク」とは?

- 研究インテグリティとは、研究の国際化やオープン化に伴う**新たなリスク**に対して新たに確保が求められる、**研究の健全性・公正性**を意味します。
- この新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や、研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されています。
- こうした中、我が国として国際的に信頼性のある研究環境を構築することが、研究環境の基盤となる価値を守りつつ、必要な国際協力及び国際交流を進めていくために不可欠となっています。

※内閣府科学技術・イノベーション推進事務局作成資料「研究インテグリティの確保に係る対応方針」より抜粋

リスク軽減の観点から新たに確保が求められる研究インテグリティ



対応①: 新たなリスクへの対応・・・研究データ管理、秘密情報管理、非公開特許、デューデリジェンス、オープンアクセス、セキュリティクリアランス、GDPR etc.

対応②: 産学連携による利益相反・責務相反、安全保障貿易管理 etc,

対応③: 特定研究不正行為(FFP)、QRP(好ましくない研究行為) etc,

※内閣府科学技術・イノベーション推進事務局作成資料「研究インテグリティの確保に係る対応方針」より

文部科学省からの通知

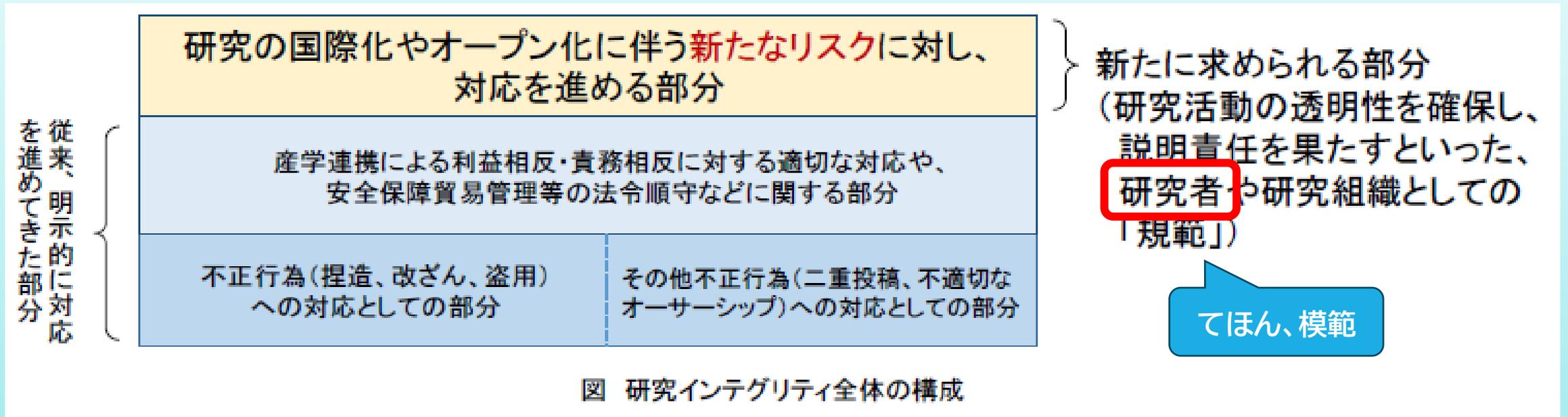
1. 国外も含む外部からの支援や兼業等の情報の**提出**
2. 秘密保持契約等が交わされている共同研究等に関する必要な情報の**提出**
3. 寄附金等や資金以外の施設・設備等による支援等の情報について、所属機関に適切に報告している旨の**誓約**を求める
4. 利益相反・責務相反に関する規程の整備、所属機関に情報の把握・管理の状況の**確認**
5. 内閣府・文科省でチェックリスト雛形を**作成・配布→対応**
6. 各大学や研究機関における**研修**の強化
7. 大学や研究機関における規程や組織の整備(**確認と見直し**)

求めているのは
組織の透明性(一体性)



研究インテグリティの確保として求められているのは新たなリスクへの対応

リスク軽減の観点から新たに確保が求められる研究インテグリティ



対応①: 新たなリスクへの対応・・・研究データ管理、秘密情報管理、非公開特許、デューデリジェンス、オープンアクセス、セキュリティクリアランス、GDPR etc.

対応②: 産学連携による利益相反・責務相反、安全保障貿易管理 etc,

対応③: 特定研究不正行為(FFP)、QRP(好ましくない研究行為) etc,

※内閣府科学技術・イノベーション推進事務局作成資料「研究インテグリティの確保に係る対応方針」より

インテグリティの定義

※ インテグリティ = 「**完全であること**」 (語源はラテン語の“integer”)

【オックスフォード辞典より】

「The quality of being **honest** and having strong **moral** principles」 → **個人のインテグリティ**

⇒ (訳) 誠実(**正直?**)で強い道徳観を持っていること。

- ・尊厳(Dignity)とも近い。
- ・自分に嘘をつかない。
- ・**個人のインテグリティ**とは、

「法律や規則に書かれていること(言われたこと)だけをするのではなく、「**期待されること**」(**人として行うべきこと**)を自ら考えて行うこと。」

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

個人のインテグリティの確保として：期待されることを行うこと

期待されることをやる

やるべきことをやる

言われたことをやる

インテグリティ

コンプライアンス

法令遵守

正しいことをやる
〈Do the right thing〉

きちんと対応する
〈Do things right〉

=期待にこたえる
(TPOに応じて)



「法令」「コンプライアンス」
⇒「違反」

「インテグリティ」
⇒「ある」か「ない」か

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

引用：サステナブル・ブランド ジャパン ホームページより

法令遵守・コンプライアンスと、インテグリティの違い

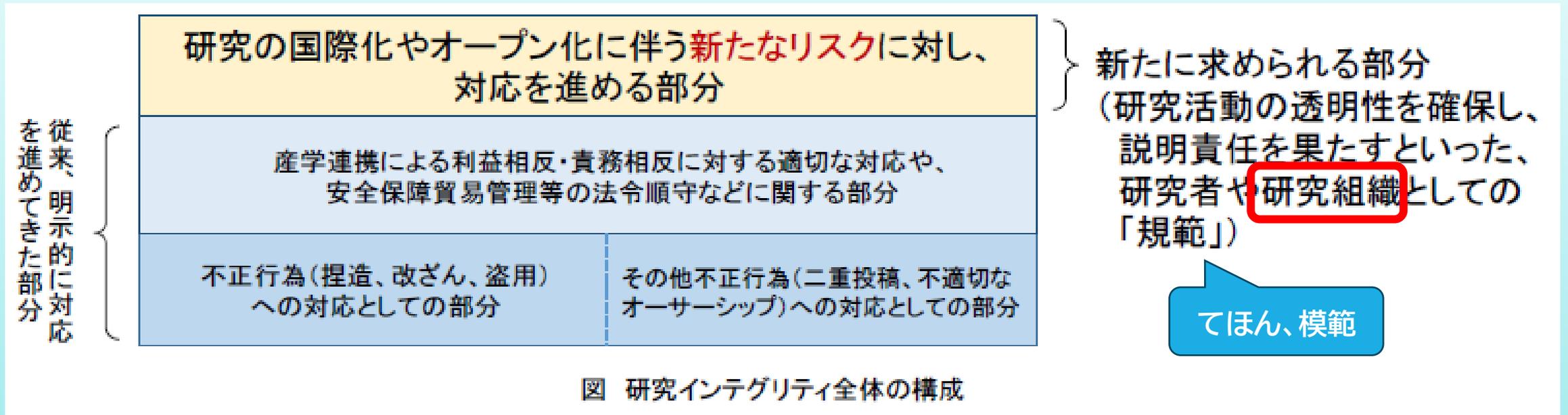
- インテグリティの和訳として、「正直」「素直」が挙げられることがあるが、これも不十分
- 例えば、
 - ✓ 死の間際にある病床の妻に対し、自分の浮気を告白する夫にインテグリティがあるといえるのか？
⇒ たしかに「正直」かもしれないが、妻への配慮に欠けるし、自らの浄罪を果たしたいという身勝手

インテグリティある言動を行うためには、単に硬直的に馬鹿正直であればよいのではなく、その場その場において**自分に何が期待されているかを臨機応変に考える柔軟性が要求される！**

- こう考えると、いついかなるときでも真実を告げることがインテグリティにかなっているとはいえない。
- 言行一致や首尾一貫はたしかに美德だが、それはインテグリティの一要素にしかすぎない。
- 円滑な社会生活を送るために、TPOに応じて**罪のない嘘**を付くことが許される場合もある。

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

リスク軽減の観点から新たに確保が求められる研究インテグリティ



対応①: 新たなリスクへの対応・・・研究データ管理、秘密情報管理、非公開特許、デューデリジェンス、オープンアクセス、セキュリティクリアランス、GDPR etc.

対応②: 産学連携による利益相反・責務相反、安全保障貿易管理 etc,

対応③: 特定研究不正行為(FFP)、QRP(好ましくない研究行為) etc,

※内閣府科学技術・イノベーション推進事務局作成資料「研究インテグリティの確保に係る対応方針」より

インテグリティの定義

※ インテグリティ = 「完全であること」（語源はラテン語の“integer”）

【オックスフォード辞典より】

「The quality of being **honest** and having strong **moral** principles」 → 個人のインテグリティ

「The state of being **whole and not divided**」 → 組織のインテグリティ

⇒ (訳) 一体であり、分断されていない状態。

・組織のインテグリティとは、

「理念とのOne Teamとしての一体性を実現するための方法論・組織論」

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.



「One Team」とはどういう意味か？

◆ One Teamであること = 大学理念との一体性

- 組織のインテグリティは、大学全体が一体性を持ち、いわば「One Team」としての大学理念 (Academic Integrity PolicyやResearch Integrity Policy)を学長から末端教職員まで全員が理解して実践できている状態のこと。

◆ 重要なのは、組織へのエンゲージメント(愛着、思い入れ)を高めること

例:飲み会の席でカジュアルに「琉球大学の未来について・・・」等と大学を誇らしげに語っていますか？

⇒大学への強い**エンゲージメント**(One Teamとしての一体感)があり、インテグリティが**ある**状態。

- 業務内容等による縦割り(組織)をなくすことも、エンゲージメントを高めるうえで重要

例)「企業との共同研究＝産学連携部署」ではなく、法務やリスクマネジメントなど複数の視点から検討する。

- 組織に一体感があれば、**コミュニケーション**は活発になる。
- インテグリティに**欠けている**組織: 怖い上司の前でモノが言えない部署、派閥のしがらみが強い組織 等

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

One Teamとしての組織づくりのポイント①:組織づくりの前提

人間は不完全

- 誰もがミスをする
- ミスを補って仕組み化する必要性
- コミュニケーションが重要

コミュニケーションも不完全

- 言語的情報だけを単に伝えようと思ったのに、非言語的な情報ばかり独り歩きして誤解されて伝わる
- テレワークで「見えない、聞こえない、出会わない」
- さらにコミュニケーション困難

- 組織は「コミュニケーションのネットワーク」といえるが・・・
 - ⇒ コミュニケーションはとても脆弱
 - ⇒ 脆弱性を補うコミュニケーションと「仕組み化」が大事

組織が完全であるために、より綿密なコミュニケーションや「仕組み化」を促進すべき！
例) ホンダのワイガヤ、京セラのコンパ経営(膝詰め飲み会)、NTTコミュニケーションズのNeWork etc.

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.

行動心理学:「集団思考の罠(Group-thinking Trap)」

例) 社会人になった時、ある先輩から「長いものに巻かれろ。」と言われた。

- 上司や影響力の強い人とは争わず、素直に言うことを聞いておけ。そのほうがキャリア上よい。
- 時として、間違っていると思っても、それを指摘することが難しくなる。

• 1人でのいるのと違い、多くの人と一緒に行動すると、周りの動きに同調しようとしてしまいがち。

- 「空気を読む」:日本人は個人の自由に関して**不寛容**で同調圧力に従うことが美德であると信じている。
(「上司に意見を言えない」「周囲の人が仕事していたら帰りにくい」etc.⇒**日本のWell-beingが低い理由の1つ**)
- 集団の中で孤立することは、心理的なストレスを生んでしまう！
- その結果、組織として適切な判断が下されず、ミスや問題、惨事につながってしまう。。。



組織全体の意思決定の誤りにつながる！

集団思考の罠を避けるためのコツ

- ① 異論や疑念の表明を推奨する
- ② 時には批判的に検証する（「デビル審理法」が有効）
- ③ リーダーは自分の主観的意見を控える
- ④ 組織外の専門家の意見を求める
- ⑤ 合意を急がず、再検討の時間を確保する

最後に



コンプライアンスとインテグリティの違い

コンプライアンス	インテグリティ
法令遵守	誠実さ・倫理 etc.
過去・今	未来
現実	理想
あるべき姿にする	あるべき姿を示す
規程の策定・実行	理念を示す
規程遵守の管理	理念実現の評価
結果	過程
Do things right (ちゃんとやる)	Do the right thing (正しいことを行う)
フォロワー	スターター
先例にならう	文化を創る
管理部が主導	経営者が主導

インテグリティの再評価

コンプライアンスの限界

- ・拡大解釈しすぎ
- ・手垢が付いた
- ・規則が増えすぎ

VUCAの時代

- ・先行き不透明
- ・自分で考える
- ・ルールではなく理念が重要

インテグリティの重要性
(再評価)

資本主義の発展

- ・コンプライアンス進化
- ・ESG(環境・社会・ガバナンスを考慮した事業活動)
- ・SDGs(持続可能な開発目標)

コロナ禍

- ・テレワーク
- ・現場各自の良心による管理

時代はインテグリティを求めている！

※中山達樹, 「インテグリティ-コンプライアンスを超える組織論-」, 中央経済社, 2022.



私からの説明は以上です。

ご清聴ありがとうございました♪

